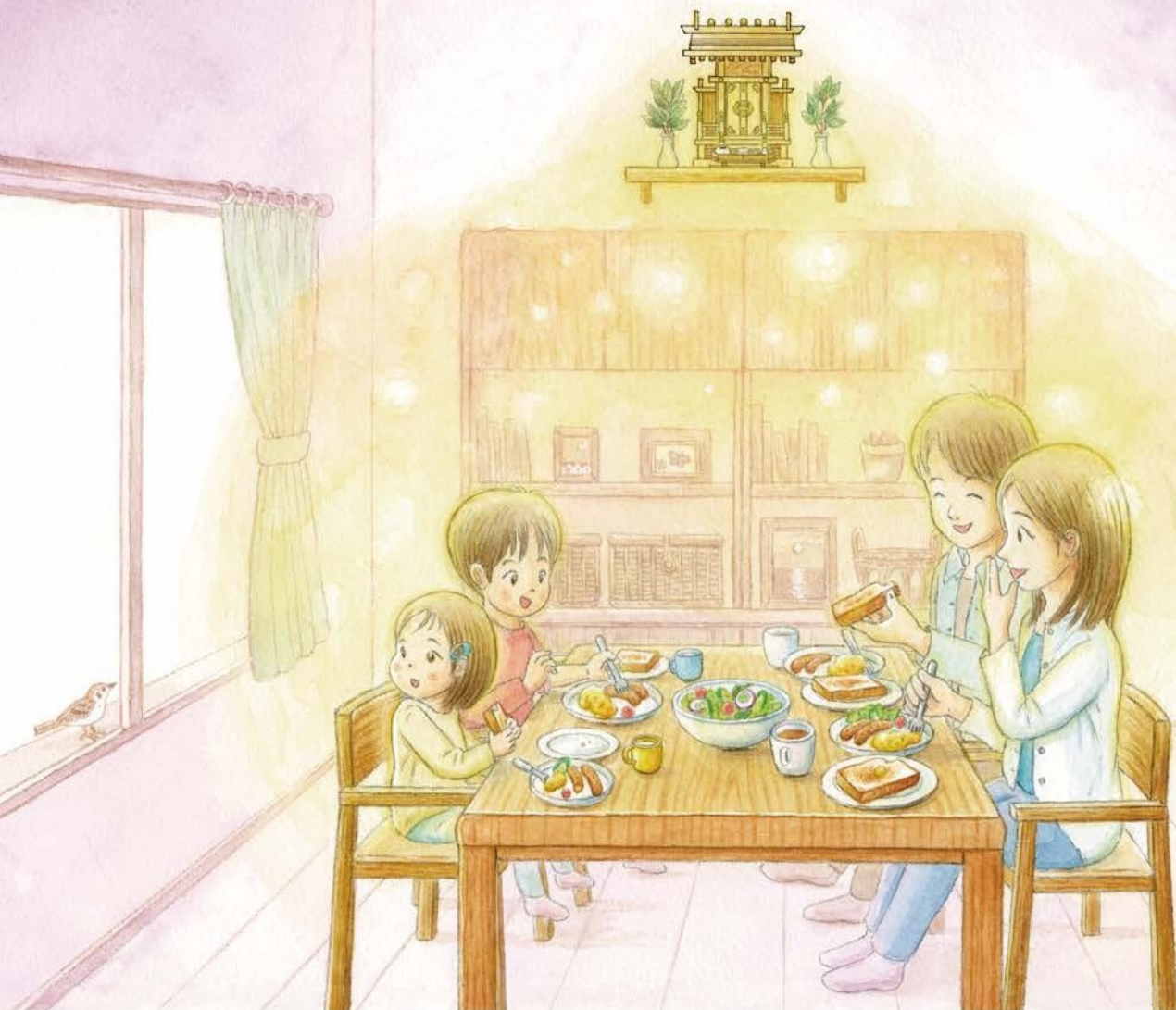


# 日々の幸せは 神さまに見守られて



## お伊勢さまは

日本をお守りくださる

## 尊い神さま

伊勢の神宮は全国に数ある神社の中でも、特別な存在のお宮で、皇室の御祖神である天照大御神をおまつりしています。天照大御神は、太陽のように私たちを見守り、育んでくださる神さまです。伊勢の神宮のお神札を<sup>ふだ</sup>神宮大麻<sup>じんぐうたいま</sup>“<sup>わか</sup>”<sup>み</sup>いい、全国の神社でお頒ちしています。

## 氏神さまは

私たちをお守りくださる

## 身近な神さま

日本では代々、祖先に縁の深い神さまや、地域をお守りくださる土地神さまを氏神さまとしておまつりしてきました。

おまつりされている神さまは神社によって様々ですが、氏神さまは地域に住む人々の生活や、地域の平穏を見守ってくださっています。

## ご家庭で

## お神札を

おまつりしましょう

神さまに対するおまつりは、ご家庭でもおこなうことができます。家の中心に神棚を据えて、お伊勢さまと氏神さま、崇敬する神社のお神札をおまつりし、日々の暮らしの中での感謝と祈りをささげるとともに、お子さまの誕生や結婚など、ご家庭で大きな出来事があった際には、氏神さまに奉告し、新たに迎える生活の平穏を祈りましょう。神棚は、居間などの家族が集まる部屋の目線より高い位置に、南または東向きに設置するのがよいとされています。神棚がない場合はタンスや本棚の上におまつりするなど、かたちにこだわらずに、出来ることから始めてみましょう。



一社づくりの場合



三社づくりの場合

# 第六十三回神宮式年遷宮へ向けて

## 【お木曳行事】

伊勢の神宮には、二十年にいちど、社殿や神さまに関わるものを全て作り替え、大御神様に新たな社殿へお遷りいただく、「式年遷宮」というお祭りがあり、現在は、令和十五年に執り行われる第六十三回神宮式年遷宮に向けた様々な祭典・行事が行われています。このうち、令和八年から九年にかけては、三重県伊勢市にて「お木曳行事」が行われています。お木曳行事とは、新しい御社殿を建てるために木曾の山から伐り出した檜を、伊勢の住民と全国の崇敬者で神宮まで運び入れる行事です。内宮では五十鈴川の中を櫓に乗せて、外宮ではお木曳車という特別な車に乗せて運びます。お木曳行事は国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択され、また、伊勢市の「無形民俗文化財」として指定されています。

## 正月 新年を迎えるにあたって

日本人は古くから新年を迎えるにあたって、正月への準備を入念に行っていました。

まず、一年の幸せと実りをもたらしてくださる歳神さまをお迎えるために、家の内外を掃除する「煤払い」を行います。今日では暮れの大掃除として、広く一般的に行われています。神棚も同様に綺麗にし、神社から受けた新しいお神札をおまつりします。古いお神札は一年間無事に過ごせた感謝を込めて、氏神社に納めてお焚き上げていただきます。また、歳神さまの依り代となる門松を立て、家内を祓い清めるための注連縄を飾り、歳神さまへの供え物である鏡餅等を供えます。

年が明けてからは、氏神さまや崇敬神社へ初詣に行き、新たな一年の安全と多幸をお祈りしましょう。



## 服忌(ぶつき)

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日間を忌中として故人を偲び、神棚に半紙を貼るなどして、おまつりを遠慮します。忌が明ければ再びおまつりし、通常の生活に戻ります。

忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてからお神札を受けましょう。

なお、親戚の方が亡くなられた場合は、お葬式を出したお家であれば、通常のおまつりをして問題ありません。



## 神社でのご祈願

神社では様々なご祈願を受け付けています。いつもより神さまに近い場所へ、お願い事を届けてみては如何でしょうか。

- ・皇室彌栄・国家安泰・神恩感謝・五穀豊穡
- ・大漁祈願・家内安全・身体健全・商売繁盛
- ・学業成就・交通安全・旅行安全・縁結祈願
- ・子授祈願・病氣平癒
- ・心願成就・地鎮祭
- ・竣工祭・自動車清祓
- ・厄除祈願 など



神社本庁  
ホームページ  
<https://www.jinjahoncho.or.jp/>

## 令和9年 厄年表

| 女性 | 前厄              | 本厄              | 後厄              | 男性 | 前厄              | 本厄              | 後厄              |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|
|    | 18歳<br>(平成22年生) | 19歳<br>(平成21年生) | 20歳<br>(平成20年生) |    | 24歳<br>(平成16年生) | 25歳<br>(平成15年生) | 26歳<br>(平成14年生) |
|    | 32歳<br>(平成8年生)  | 33歳<br>(平成7年生)  | 34歳<br>(平成6年生)  |    | 41歳<br>(昭和62年生) | 42歳<br>(昭和61年生) | 43歳<br>(昭和60年生) |
|    | 36歳<br>(平成4年生)  | 37歳<br>(平成3年生)  | 38歳<br>(平成2年生)  |    | 60歳<br>(昭和43年生) | 61歳<br>(昭和42年生) | 62歳<br>(昭和41年生) |
|    | 60歳<br>(昭和43年生) | 61歳<br>(昭和42年生) | 62歳<br>(昭和41年生) |    |                 |                 |                 |

【厄年表】(※)数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。